

ハンドボール No.27



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生
<input type="checkbox"/>	県協会

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input checked="" type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合番号	玉名-男38
------	--------

年月日	2019年8月6日(火)
大会名	令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 熊本国府高等学校					大阪体育大学浪商高等学校										B	
都道府県 熊本県		市町村 玉名市			会場 玉名市総合体育館										回戦 3回戦	
前半	A 12	B 19	最終結果	A 22	B 33	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m20- 37分	A	B		
7m得点/総数	A 1/1		チームタイムアウト 1 2 後半 3 1928 0901			チームタイムアウト 1 2 後半 3 1111			B 0/0		7m得点/総数					

No.	熊本国府高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	大阪体育大学浪商高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	濱崎 弘己							2	安達 圭吾	1					
2	鶴田 倫太郎							3 C	山田 陵平	2					
3	辻本 賢生	2						4	佐々木 博也	1					
6	滑石 仁							5	木村 翔太	6					
7	松岡 拓斗	3		1	1			6	濱田 昇悟	1					
8	岩崎 琢未	5						7	泉本 心	6					
9	山上 琉希	2						11	下川 陽向	2					
10	井上 選	1						13	難波 克	1					
11 C	清水 大地	2						14	葛谷 日向	2					
12	鶴田 仙太郎							15	森岡 栄翔	1		1			
13	蓮澤 圭	4						16	今井 寛人						
14	吉永 蓮	1						17	泉本 繁輝	7					
15	渡邊 舜也	2						18	松川 兼心	3		1			
16	畠田 大貴							21	林 優尊						
役員A	鎌田 雅彦							役員A	徳永 昌亮						
役員B	宮瀬 知周							役員B	山本 智章						
役員C	大崎 暢夫							役員C	浅野 帆夏						
役員D								役員D							

A	鎌田 雅彦	チーム役員A署名	徳永 昌亮	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	小田 健介	鈴木 孝明	小田 健介 鈴木 孝明
TD	藤本 幹生	川越 克紀	藤本 幹生 川越 克紀
MO	疋田 雅己		疋田 雅己

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 29

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 6日 火曜
会場	玉名市総合体育館
種別	男子
回戦	3回戦

	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
スコア	熊本国府 (熊本県)	22	12 — 19	33	大体大浪商 (大阪府)
			後半		
	10 — 14				
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	<p>前日、今治西との一戦を制した地元熊本国府と、学法石川に危なげなく勝利した大体大浪商の試合。まずは熊本国府の渡邊の速攻で先制するも、大体大浪商の泉本(繁)のミドルシュートで同点。開始4分に熊本国府に退場者が出るも、清水のカットインシュートで流れを持っていかせない。お互い持ち味を存分に発揮するゲーム展開となるが、大体大浪商の泉本(心)のランニングシュート、山田の速攻で11-9となった時点で熊本国府がタイムアウトを要求。岩崎のステップシュートで反撃と行きたいところだったが、その後は熊本国府のミスから泉本(繁)の速攻、木村、泉本(心)のロングシュートなど大体大浪商は得点を積み重ね、12-19の6点差で前半を折り返した。</p>
	後半	<p>後半立ち上がり、蓮澤の速攻で熊本国府が得点も、松川、下川の速攻など得点を重ね、14-24となったところで熊本国府がタイムアウト。ここから、地元の大応援に応えるように、山上の速攻、辻本のポストシュートなどで得点。さらに大体大浪商の猛攻も熊本国府濱崎がナイスセーブを連発、6点差に縮める。その後は熊本国府渡邊のサイドシュート、井上のカットインシュート、大体大浪商の木村の速攻、泉本(心)のロングシュートなど互角の攻防を繰り返していく。しかし、地力に勝る大体大浪商が安達のみドルシュート、森岡のサイドシュートなどで差を広げ、22-33で勝利。ベスト8へ駒を進めた。熊本国府は地元の声援を受け、リードされながらも自分たちの持ち味を十分に発揮した一戦だった。</p>

記入者 山口 大輔